

新川会通信

第39号

# すまいる

発行  
社会福祉法人新川会〒930-0362  
上市町稗田字七郎谷1-32  
Tel(076)472-1118  
Fax(076)472-5391  
E-mail yotsubaen@niikawakai.jp  
HP http://www.niikawakai.jp/

発行責任者 倉田 淳



四ツ葉園改修工事、順調に進んでいます！

今後、相談支援専門員は、障害児者の自立の促進と共に社会の実現に向けた支援を展開することを期進待されています。そのため、相談支援のスキル・知識を高めつつ、社会資源の改善・開発・構築、生きがいや希望を見出す等、地域に障害児者の住みよい環境をいかに根付かせていくかがより重要なになります。

ますます地域における相談支援の役割が大きくなるなかで、新川会地域生活相談室が、障害のある人が抱える問題を、個人レベルでの問題として捉えた相談支援体制をしっかりと築いていかなければなりません。そして、日頃の実践を可視化する仕組

相談支援における業務は、担当する利用者の希望する生活に向けて、支援体制を組み立てていくことであり、対象者によって、支援の内容も多種多様になります。

平成二十七年以降、相談支援の対象は大幅に拡大し、障害福祉サービスを利用する全ての利用者にサービス等利用計画の作成が義務付けされました。当相談室においても、計画作成の対応に追われているのが現実です。しかし、サービス等利用計画は、障害のある人の意思決定を尊重し、その人らしく暮らすための視点に基づいて作成するべきものであります。そのため、彼らがどのような暮らしをしたのかという意思を彼らとの信頼関係のなかで探る努力が必要で、対象者にしっかりと向き合う時間が不可欠です。

## 地域の相談支援体制の向上に向けて

地域生活相談室室長 野島 真裕美

雷鳥苑では他にも地域、立山町との交流イベントも多いです。立山町身体障害者福祉協会や、わくわくファームきらりなどの施設の皆さんと、年三回、スパンツ交流、教室、料理教室を行っています。



「よく狙つて！」  
「ライラディスク」

### 社会参加促進事業

雷鳥苑では他にも地域、立山町との交流イベントも多いです。立山町身体障害者福祉協会や、わくわくファームきらりなど、多くの施設の皆さんと、年三回、スパンツ交流、教室、料理教室を行っています。

**特集**

### 雷鳥苑

立山町赤十字奉仕団主催の交流会です。夏休みになつた小学生が雷鳥苑の仕事を体験したあと、みんなで七夕飾りをつくります。それを飾り、昼食は全員で流しそうめんを楽しみます。

「初めて障がい者さんと関わりました、大変な仕事をしておられま

す。立山町身体障害者福祉協会や、わくわくファームきらりなど、多くの施設の皆さんと一緒にドライバーの皆さんに無事故を呼びかけて手渡しています。利用者さんは一とても緊張しますが、作ったマスクで車を手渡しています。故が減りますように」と元気なドライバーさんへ手渡しています。



### 地元の小学生との交流会

「いたたきます！」



### ふれあい昼食会

毎年、十一月に立山町の飲食業組合の方々が雷鳥苑を訪問され、おいしいカレーライスを振る舞つて下さいます。

雷鳥苑の利用者の皆さんはいつも楽しみにしています。組合の皆さんのが真心こもつたカレーライスを食べた後は仕事もはかどります。



皆さん汗だくで頑張っています

すね」などの声も聞かれました。

### 交通安全マスコット配り

交通安全週間に合わせてマスコットを作成し、警察、立山町交通安全協会の方と一緒にドライバーの皆さんに無事故を呼びかけて手渡しています。利用者さんは一とても緊張しますが、作ったマスクで車を手渡しています。故が減りますように」と元気なドライバーさんへ手渡しています。

そのほかにも富山第一銀行立山支店、北陸銀行立山支店の作品展示や、立山祭り、立山町文化祭などへ模擬店出店もしています。

立山町内の段ボール回収なども行い、雷鳥苑は地域との関わりをとても大切に考えています。



「みんなで踊ると楽しいね。」

### 下段地区交流会

毎年、クリスマスの時期に下段地区の幼稚園児と交流会をします。園児の出しものではかわいらしく踊りを披露してもらい、雷鳥苑の利用者の皆さんもお返しに練習してきた歌や踊りを披露します。みんなでゲームをしたりと盛り上がります。



## 四ツ葉園だより

### 四ツ葉園祭

十月十四日、第二十五回四ツ葉園祭が開催されました。四ツ葉園祭は利用者の皆さんのが毎年楽しみにされている行事の一つで、今年度も前日から期待に心が弾んでいた。午前のステージ発表ではトーンチャイムクラブ、太鼓クラブの演奏が行われました。やわらかく、綺麗な音色で馴染みのある音楽を奏てるトーンチャイムクラブに続き、力一杯バチを振るいエネルギー満々の太鼓クラブの演奏で会場にはたくさんの拍手が溢れました。

午後のステージ発表では「まどかの会」によるよさこいが行われ、「そらバンド」による演奏へと続きました。馴染みの歌が続く中、会場の盛り上がりは最高潮に達し、会場と一緒にとなつた素晴らしい演奏を楽しむ事ができました。



### 感謝状贈呈式

### 焼きいもの会

二十四年間、四ツ葉園の茶道教室をご指導していただいた渡部一清先生が十月の教室活動を最後に茶道教室から退かれることとなりました。渡部先生には今までお点前の仕方や作法について利用者の皆さんに懇切丁寧に教えていただき、毎週の茶道教室を受けている利用者さんは特に寂しそうな様子でした。

四ツ葉園祭の日、そんな今までの感謝の気持ちを込めて代表の利用者がお礼の言葉と花束を贈呈しました。

今までご指導いただき誠にありがとうございました。またいつでも四ツ葉園へ利用者さんに会いに来ていただきたいです。



十一月三十日、秋を代表する毎年恒例の行事、焼きいもの会を行いました。焼きいもの会は代表の利用者が濡れた新聞紙とアルミホイルで丁寧に包んださつまいもを職員が一斗缶の中に薪をくべて焼き上げ、完成した焼きいもを皆で食べる行事です。今年も多くの利用者さんが沢山代表者に立候補され、アルミホイルに包まれたさつまいもがたくさん用意されました。

さつまいもを焼いている間レクリエーションとして『さつまいも探しゲーム』を行い、時間を忘れて熱中していると念願の焼きいもが完成しました。焼き立ての焼き

いもを前に皆さん喜んでおられるようでした



仮装たのしいね



メリークリスマス

## 雷鳥苑だより

### 雷鳥苑祭

十月二十八日、雷鳥苑祭が行われました。

販売も好評で、四ツ葉園の焼き芋や、さつき苑のポップコーンも列ができるほどでした。

い一日となり、地元の皆さんはじめ多くの方が足を運んでくださいました。利用者の出しものではハロウィーンの仮装を行い、侍や、シンデレラになりました。利用者さんが来場者を盛り上げました。

恒例の【頑張ったこと発表】では、「仕事への意欲」「来年への期待」など、利用者の皆さんは自信を持つて発表しました。ビンゴゲームでは豪華お菓子の詰め合わせを巡って大盛り上がりになりました。

展示では、たくさんの作品を並べることができ、観覧された方々からは驚きの声も聞かれました。

十二月十五日にクリスマス会、忘年化を兼ねて「期末の集い」を行いました。

## 工房よつばだより

### 社会生活 体験

十一月二十八日

は社会生活体験で、今回は移動で、行き帰りとも地鉄電車を利用しました。中には久しぶりに電車を利用されるという方もおられ「昔乗ったことあるよ」と車内でもそれぞれ会話が弾んでいました。

(4)



行つてきます!



美味しい食事に大満足です！



サンタに会いました☆

## 工房よつばだより

### 社会生活 体験

十一月二十八日

は社会生活体験で、公移動し、劇団四季のミュージカル「嵐の中のこどもたち」を鑑賞しました。間近で見る迫力ある演技やストーリー展開に最後まで目が釘付けで、気付けばあつという間の一時間でした。

(4)

共交通機関やレストランなど、社会の場ということを意識しながら行動することで、ルールやマナーへの理解が深まったことだと思います。

## つつじ苑だより

### 成人を祝う会

おめでとうございます。  
これからもつつじ苑で一  
緒に頑張りましょう。

一月十二日

(金)につつじ苑で  
成人を祝う会があ  
りました。今年は

二名の成人の方が  
おられ、みんなでお

祝いをしました。普  
段はカジュアルな服装

のお二人ですが、この日  
は正装をされ、ジャケット

が良く似合っておられました。  
プロジェクトを使って写真

と思い出話で幼少期を振り返る  
場面があつたのですが、素敵な  
青年に成長されたお二人のとつ  
てもかわいい姿を見ることがで  
きました。また、成人の儀式と  
してお酒を飲むことに挑戦しま  
したが、初めて飲んだお酒は  
ちょっとびり苦手だったみたいで  
す。

家族からの手紙の朗読では、  
本人への励ましの言葉やみなさ  
んへの感謝の言葉が綴られてい  
て、とても感慨深いものがあり  
ました。

健太郎さん、泰輝さん、成人



## さつき苑だより

### さつき苑

十月七日(土)  
に「第九回さつ  
き苑祭」を開催  
しました。利用者

による出し物では、  
ハンドベルで「夢を  
かなえてドラえもん」  
をキーボードに合わせ  
て和音を奏でました。ま  
た、「きよしのズンドコ節」

に合わせた創作ダンスを披露  
しました。発表の後は、来場さ  
れた方々から大きな拍手を頂き、  
利用者の皆さんからは安堵と満足  
げな笑顔が見られました。

苑内では、利用者の皆さんとの普  
段の活動の紹介や、書初め、絵画  
などを展示しました。作品即売で  
は、ポップコーンをはじめ利用者  
の皆さんのが頃の活動で制作した  
商品や、自  
主製品をた  
くさん手に取っていた  
だく良い機  
会となりま  
した。毎年  
恒例となつ  
た貼り絵は



「新緑の黒  
部ダム」

を制作し  
ました。

工芸班

では「日  
本の名画」

と題して、  
葛飾北斎

の「赤富士」と東洲斎写楽の浮世  
絵をアイロンビーズで作り展示し  
ました。

午後のアトラクションでは、三  
味線での唱歌や童謡の演奏と歌の  
披露があり、普段聴くことが少な  
い三味線の音色に皆さん耳を傾  
け、知っている曲を口ずさんでい  
らっしゃいました。

今年のさつき苑祭では、元祖富  
山ラーメン「ひげ」さんの出店も  
あり、保護者の方々をはじめ、地  
域の方々も、多く来苑されて、と  
ても盛況でした。

## 地域相談室だより

### 障害者差別解消法についての研修

地域支援室

平成二十九年十一月二十二日、  
「滑川・中新川障害者自立支援協議会」の研修会で、富山県厚生部障害福祉課広域専門相談員の土田敦子氏の講義がありました。テーマは「誰もが安心して暮らせる社会へ～障害への理解と適切な対応のために～」でした。

「差別」の考え方や感じ方は人それぞれ違うため、富山県では条例で障害のある人に対する「不利益な取り扱い（障害を理由にお店に入ることができない等）」を禁止し、「合理的配慮」を行う事を義務付けています。

私たちが普段何気なく行えることでも、障害のある人は誰かの手助けや配慮が必要です。それを行わないことが意図的でなくとも障害のある人の活動や参加が制限され、結果的に「差別」になってしまいます。障害のある人の権利や意思を尊重しながら、具体的にどんな合理的配慮が必要で実現可能か、本人と対話しながら決めていくことが大切だと思いま

差別や偏見は「知らない」とことから始まります。地域の方に障害特性や適切な対応を知つてもらうためには、関わりを持つ機会を多く設ける必要です。私達施設職員は、地域の方と障害のある人の声を代弁し、地域の方に障害の理解を深めてもらえるよう努めていく必要があります。これから社会がお互いに安心し過ごしやすい社会になるよう工夫をしながら働きかけていきたいと思いました。

り組みを聞くことができました。また、演習では強度行動障害の人達の立場になり、感覚の違いやコミュニケーション面での伝わり方等を体験しました。どの体験もストレスがかかる物が多く、利用者の立場に立つて支援を行う重要性を改めて知る機会となりました。

強度行動障害の人達の立場に立ち、本人たちの障害特性、思い等を理解し、少しでも活動の幅が広がるよう支援者が連携して支援を行っていく必要があり、強度行動障害の人達の理解できない状況や感覚的ストレスの中にあるという状況を支援する側が理解して、安心して過ごせる環境を提供することに努めています。

### 富山県強度行動障害支援者研修（基礎研修）に参加して

主任支援員 藤井丈裕

### リスクマネジメント研修へ 参加して

主任支援員 石原健太郎

九月に富山県強度行動障害支援者養成研修に参加してきました。

今回の研修では、講習にて強度行動障害の特性、実態などを学び、体制や関わり方といった「環境要因」が大きく関係しており、行動障害の支援に必要な知識、情報、技術、そして考える力を身に付ける必要があるということを学びました。実践報告では、他施設での強度行動障害の利用者に対する取

り組みを聞くことができました。その為には例え軽い事故や事故に至らなかつたケース（俗にひやり・見逃さず「大きな事故に至らなくはつとと言われます）であつても「大きな事故に繋がらないよう検討する」という意識を持つ事が必要です。私たち職員はこの姿勢を常に持ち続け、起こつた事故をそのままの都度しっかりと検証し対策を行つてきました。事故の軽減に努めることは必要であると感じさせられました。

最後に今回の講義でもつとも印象に残つた事が、「利用者の皆さんの安心感・存在感を大事にする」ことです。その点を心掛け支援を実施することで、自ずと事故は少なくなると言わわれています。入所支援において重度・高齢化が進む昨今ですが、その中でも職員は広い視野と心の余裕を持ち、利用者の皆さんのが在る感を大事にし、安心して過ごせるよう努めています。

リスクマネジメントとは、「安全管理」つまり事故を防ぎ、利用者の皆さんの安全を守る事を意味します。転倒等による怪我や無届（無